



# かあにし

川西高等特別支援学校  
学校だより 第35号  
令和6年3月15日

## 1年のまとめ

教頭 村山 哲

コロナウイルス感染症が5類に移行され、通常の教育活動が戻ってきた1年間でした。生徒たちは、様々な経験を通して、この1年で大きく成長した姿を見せてくれました。また私たち教職員も、生徒たちが夢に向かって一步一步進んでいくことができるように、授業改善・学校行事の工夫などに積極的に取り組んでまいりました。

今年度は「やまゆり祭」でカフェ・バックヤード班生徒の接客によるカフェ・リバーウエストを開店することができるなど、昨年度より生徒の体験・経験を積み重ねることができました。「やまゆり祭」では、クラフト班のコーヒーの販売、清掃・介護班の清掃実演・体験も含め、生徒が日頃の学習の成果を堂々と笑顔で保護者・地域の皆様に披露していた姿が印象的でした。

就労に向けての取組としては、現場実習を始め、ふれあいジョブ・校内実習で多くの実習を体験し、就労に向けての意識の向上が図れたのではないのでしょうか。特に3年生は卒業後の進路に向けて自分の適性を見極めながら、納得がいく現場実習に取り組めたと感じています。各事業所様の協力があったのふれあいジョブ・現場実習です。本当にありがとうございました。

さて、来年度は大地の芸術祭の開催年となります。そのために、2月にはワークショップが開催され、生徒一人一人が「私たちの妻有の風景」をテーマに作品作りに取り組みました。作品は、小脇プロジェクトとして小脇集落分校跡地に展示されます。来年度、会場に行き作品を鑑賞する予定です。

また、全校音楽では3回目の「FOUR+」コンサートを開催し、クラシック、ポップス、ピアニストのボイコさんアレンジの校歌など様々なジャンルの音楽を鑑賞することができました。

その他にも、1・2年生の理科の学習では、十日町市理科センターからご協力いただき、自然事象に対する生徒の興味・関心が高まる学習ができたこと。職業技能の学習に外部講師を依頼し、スキルアップにつなげたことなど、多くの皆様からご協力いただき1年間の教育活動を実践することができました。感謝申し上げます。

生徒の皆さんには、今年度、体験・経験、そして身につけたことを今後の社会生活、学校生活に生かしてほしいと願っています。今年度一年間の学びを自分の宝物にして、これからも様々なことにチャレンジして行く姿を教職員一同、応援しています。



# 成長

3 学年主任 井口 哲朗

10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長く続いた新型コロナウイルス感染症も昨年の5月から5類に移行し、行動制限も無くなるなど、世の中は流行前の生活に戻ったように思います。このような高等部時代を過ごしてきた皆さんですが、様々な場面で大変活躍してくれました。

日々の生活では、各種委員会の委員長や職業技能での班長など、リーダーシップを発揮し皆をまとめてくれました。また、生徒会活動では、会長、副会長を中心に、生徒総会や生徒集会の進行、スポーツフェスタでの生徒会種目など、こちらも下級生をリードし見事に役を果たしてくれました。

現場実習では、各々の進路決定を目標に、前後期3週間の実習をやり遂げました。途中、上手いかわからないこともあったかと思いますが、諦めることなく取り組み、見事自分の進路を決めることができました。

学校行事としては、『思い出～仲間・絆・いざ金沢へ～』をスローガンに北陸方面2泊3日の修学旅行に行きまして。金沢では、兼六園の見学や九谷焼体験など、歴史や伝統文化に触れることができました。富山では雨晴温泉に宿泊し、宴会夕食や仲間との露天風呂など大変良い思い出ができました。また、やまゆり祭では最後のよさこいソーラン、リーダーの皆を鼓舞する力強いかけ声からの一体となったステージ発表は、気持ちが一つになった時の強さを感じました。

さて、これまでの3年生の活動を振り返った時に、『成長』という言葉がパッと思い浮かびました。人とのコミュニケーション、人前での発表、困っている仲間がいたら助ける、1年前は…、入学した頃は…、と考えると、できなかったことがずいぶんできるようになりました。これは、皆さんの素直な気持ち、一生懸命さ、そして努力の賜物だと思います。

これから社会に出るにあたり様々な困難や不安があるかと思っています。しかし、皆さんの周りには支えてくれる家族やサポートくださる方々がいます。困ったときは遠慮せずに相談してください。そして、持ち前の「素直」「一生懸命さ」を忘れずに頑張ってください。応援しています。



## 卒業生の進路

10名の進路先は、下表のとおりです。感謝の気持ちを忘れずに、4月からそれぞれの場所で社会人としての活躍を期待しています。

企業就労 4名			福祉サービス利用 6名
製造業 (機械部品・食品)	高齢福祉業	サービス業	就労継続支援B型 (うち生活介護併用 1)
2	1	1	6

## 後期学校評価の報告

1月下旬に、保護者の皆様から後期の学校評価アンケートに答えていただきました。以下、アンケート結果を報告します。ご記入いただいたご意見はすべて掲載いたしました。すべての評価項目において、「そう思う」「おおむねそう思う」の肯定的な評価を多くいただきました。一方で学習指導や関係機関との連携などで改善点等についてご意見をいただきました。いただいたご意見を今後に生かし、生徒、保護者、地域の皆さまの期待に応えられますよう、一層努力して参ります。ご協力ありがとうございました。

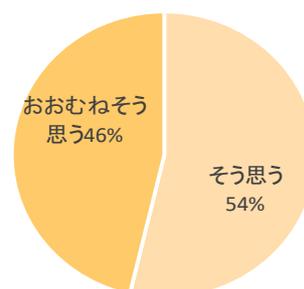
### (1) 教育課程について

学校は、地域資源を生かし、地域社会での体験的・実践的な学習や生徒の将来に必要な力を身につけるための学習を実施し、また、その充実を図っていると感じますか？

#### 【ご意見】

- ・具体的な提案はできないのですが、学習指導も含め、もう少し選択肢があればいいなと思います。
- ・コロナ禍の制限後の最大限ご尽力いただいておりますが、さらに地域社会での生活を想定したカリキュラムを構築し、経験や体験が少なくなりがちな生徒たちに支援していただけたら、さらにQOLの向上の礎になるのではと思います。
- ・もう少し内容等を掘り下げて学習してみたいかがでしょうか。

### (1) 教育課程



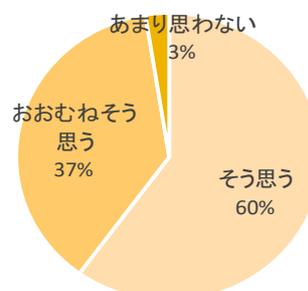
### (2) 学習指導について

生徒は、授業を通して、将来の夢や目標をもって取り組もうとする意欲を高め、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能、態度を身に付けていると感じますか？

#### 【ご意見】

- ・今、学習指導のクオリティが日増しに改善されてきていて、子供が「今日、天気のことを習った」と話題と学びが結びつきつあります。生徒の個性によって分かれてご指導いただいておりますが、各自のさらなる向上が未来につながってくれたらと思います。
- ・ほんの些細なことですが、ボトルの詰め替えを仕事体験先や家でやっていたので、驚きました。

### (2) 学習指導



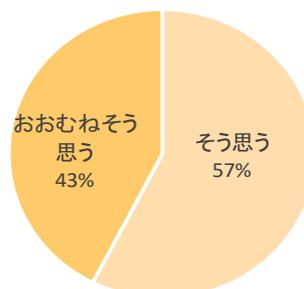
### (3) 生徒指導について

生徒は、学校生活を通して、人権意識を高め、人を思いやる気持ちやいじめを許さない態度が育っていると感じますか？

#### 【ご意見】

- ・クラスが力を合わせていると思える場面があり、お互い認め合っていると思います。

### (3) 生徒指導



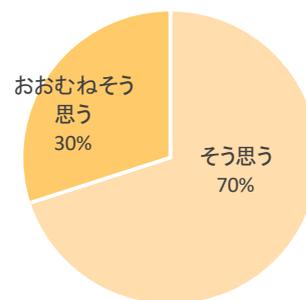
#### (4) 安心安全な学校づくり

学校は、学習環境を整え、生徒にとって安心・安全な学校づくりに努めていると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・安心安全と感じるので、社会に出た時にトラブルに遭っても対応や相談や報告ができるように、生徒が伝えられる力と信頼できる人がいると思えるご指導を加えていただけたらと考えます。
- ・元旦の地震で泣きながらも避難することができました。

#### (4) 安心・安全な学校づくり



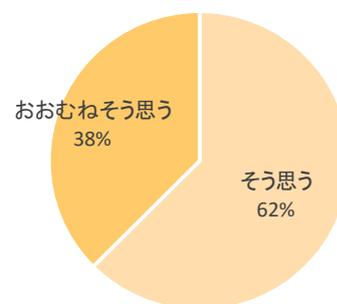
#### (5) 専門性の向上

学校は、生徒に必要な配慮を行うとともに、生徒が個性を十分発揮できる授業づくりに取り組んでいると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・3年間、クラフト班でご指導いただいたことにより、落ち着きと丁寧な作業と基本を大切にすることが身についたと思います。

#### (5) 専門性の向上



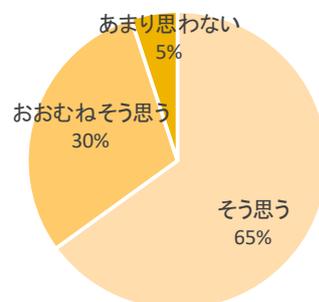
#### (6) 関係機関との連携

学校は、家庭や地域に向けて学校の取組や生徒の様子を発信し、家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・福祉関係機関とつながっていない我家は、学校の発信されている福祉と支援の情報しかないため、わからないこと、知らないことが多いと感じました。
- ・地域によって格差があると思うので、少し不透明なのかもしれません。

#### (6) 関係機関との連携



#### (7) その他(お気付きの点など)

- ・福祉事業所と一般就労の対応の違いを明確に生徒さんに指導してほしいです。福祉事業所は、どうしても人に多く頼るのが当たり前になっているというウワサがあります。自立できなくなってしまうので比較し違いを説明していただきたいです。
- ・支援学校と普通校の最大のギャップは、学習による知識・情報の量なので、せめて1日1回くらい学習の豆知識を先生から生徒に発信していただけたら、会社に入社したときに「何を言っているかわからない」から「言っていることを聞いたことがある。何かなあ、調べてみよう」のきっかけになってくれるのではないかと思います。
- ・学校の行事が午前が多いので、保護者の仕事の都合上、どうしても休めないです。午後なら時間をとれるので、その辺も配慮していただけたらと思います。
- ・いつもありがとうございます。子供を安心して預けられています。
- ・生徒一人一人にあわせて、細かな対応をしてくださっていると感じています。のびのびと学校生活をさせていただき、本当に有り難いと思っています。
- ・担任の先生が我が子のことを理解してくださり、学校生活や初めての實習も本人なりにできていると思います。学校の先生に感謝です。
- ・学習参観に行き、自分の子がどの教室にいるのかわからなくて探してしまいました。〇さんは〇〇にいますなどがあると嬉しいかもしれません。